

「瀬戸内海の海浜植物」

- ・ 瀬戸内海の海浜植物を中心に 54 種を紹介
- ・ わかりやすいカラー写真が約 200 枚
- ・ 野外観察に使いやすいポケットサイズ

ほぼ新書サイズ・50 ページ・500 円（税込）。
大阪市立自然史博物館のミュージアムショップやネットショップでお買い求めいただけます。

大阪自然史 ネットショップ



セリ科

レア度：めっちゃ見る ★★★

ハマボウフウ

Glehnia littoralis F.Schmidt ex Miq.

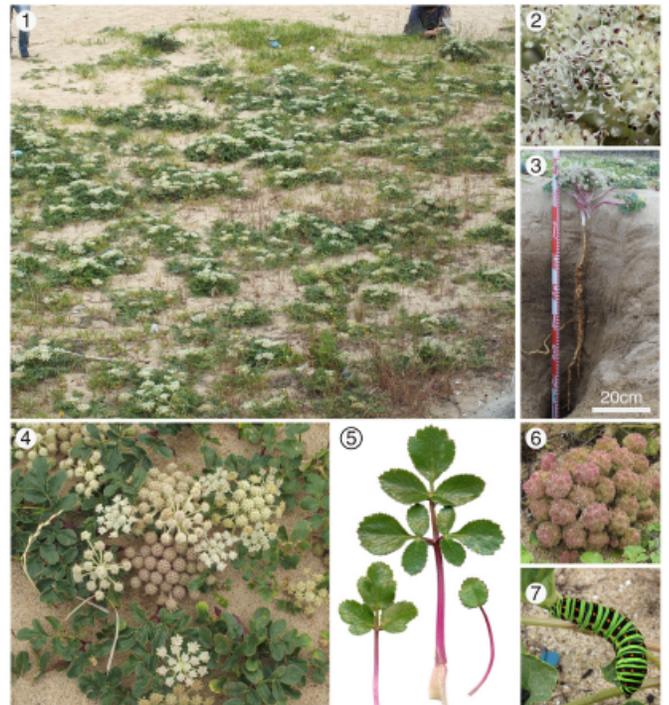
国内分布：北海道～琉球

開花時期：6～7月

多年草

在来種

花は白くてやわらかく、若い果実は緑色から赤色の硬い球形、いよいよ熟してくると枯葉のような色でばらばらになって地面にこぼれる。葉は食用になり、味はパセリそっくり。東北や北海道に生えるハマボウフウは茎が伸びあがり、まるで別種の趣。



①砂の海浜の代表的な植物。群生する景色は見事。②花の拡大。赤紫色のものは雄しべ。③ゴボウのような太く長い根を伸ばす。④濃い緑色でテカテカの葉を地表にひろげ、中央に花を付ける。⑤葉。芽生えは小葉が1枚。⑥赤く色づいた若い果実。⑦セリ科を食草とするキアゲハの幼虫がときどき見られる。セリ科と縁深い昆虫も観察ポイント。